

## LAN アクキュライザーの導入(9)

### —JBL4350A—

#### 1. 始めに

前報(8)までは FAL C90EXW にて LAN アクキュライザーの効果を確認してきました。今回からスピーカーシステムを替えて LAN アクキュライザーの効果を確認することにします。

#### 2. LAN アクキュライザーLACU-1 の試聴計画

JBL4350A は 3 チャンネルのマルチアンプシステムであり、直近の構成は JBL4350A の再構成(5)で報告したとおりです。ユニットへは、3 チャンネルともムジカライザーを経由させています。

音源は STAGE+に限定して PC 経由で再生し、スイッチングハブから PC への LAN リベラメンテに LAN アクキュライザーを装着します。

##### STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

バッハ オルガン曲集

トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

トリオ・ソナタ 第 1 番 変ホ長調 BWV525 他

ヘルムート・ヴァルヒャ (オルガン)

#### 3. LAN アクキュライザーLACU-1 の試聴結果

上記の方法で LAN アクキュライザーなしで聴いておき、LAN アクキュライザーを装着して聴き直していきます。

ベートーヴェンのピアノソナタでは LAN アクキュライザーなしでも Fabbrine のスケール感は十分ですが、やや低音に締まりがなかったところが解消され、緻密な表現が可能になってきます。

バッハのクリスマスオラトリオでは、合唱の濁りがかなり解消し、古楽器の質感が向上し、ポジティブオルガンの通奏低音が明瞭になります。ソリストの声やティンパニの間接音も明瞭になりますが、合唱の分離や古楽器の質感など、若干の不満が残ります。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」では、弦のパートの柔らかさがでできますが、ヴァイオリンなどはもう少し艶がほしいところです。ピアノの響きは豊かになり、コントラバスは量感に加え、音階の明瞭さもでできます。

バッハのオルガン曲集では、LAN アクライザーなしでもかなりのグレードで聴かせてくれています。LAN アクライザーを装着しますと、一層緻密さがまし、ペダル領域の音階が明瞭になり、このような音源でのダブルウーファーの役割が活きてきます。

上記のように LAN アクライザーの効果を認めましたが、幾分問題が残る音源もあり、ムジカライザーをスピーカーアクライザーに置き換えてみたいところが残ります。

#### 4. まとめ

JBL4350A のシステムにおいても LAN アクライザーの効果を認めました。

以上